

バイオマスプラスチック アキと世界の未来

2022年3月30日
発行(非売品)



作：
中林 まどか

発行：
(一社)日本
有機資源協会





ポイ捨てをしないのは当たり前だけど、知らないうちにプラスチックの流出に加担してることもあるかもしれないからね

えっ、知らないうちに!?

歯磨き粉や化粧品に目に見えないほど小さいマイクロプラスチックが使われていることがあるんだよ



これは施設でも処理できないので海に流れ出ちゃうんだ

普段使ってるものもちよつと注意して見てみようかなあ

振り返ってみると、バイオマスプラスチックが普及した第一歩は、2005年の「愛・地球博」なんだよ

あ！それ私が生まれた年です！

…どうしたんですか？

いや…若さに衝撃をうけただけ

ゴホン

その時はまだそれほど深刻な環境問題として受け止められてなかったのが、最近はどうだん関心が高まってきたと思うよ

目標
2030年までに
バイオマスプラスチック
約200万トン導入

国もいろいろな取り組みを始めているけど…

掲げている目標を達成するには、みんなが力を合わせないと！

もつと研究を進めて、

持続可能性のあるバイオマスプラスチックを製造して、

消費者も優先的に使っていくことが大事なんだ

うんうん



日本で進められて
いる研究…



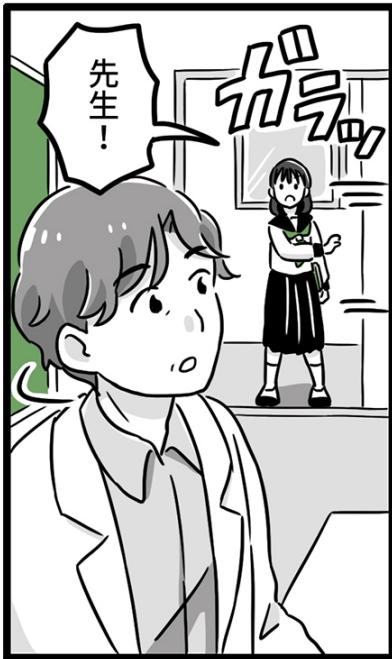
世界で深刻化
するプラ問題、
解決のための
大きな可能性を
秘めたバイオマス
プラスチック



ありがとう
ございましたー



私、
バイオマス
プラスチック
を研究して、
これからの社会を、
世界を担う人に
なりたいです！



先生！



バイオマス
プラスチックに
関わることって、
もしかして
これからの世界を
担うってことなんじゃ
ないかしら

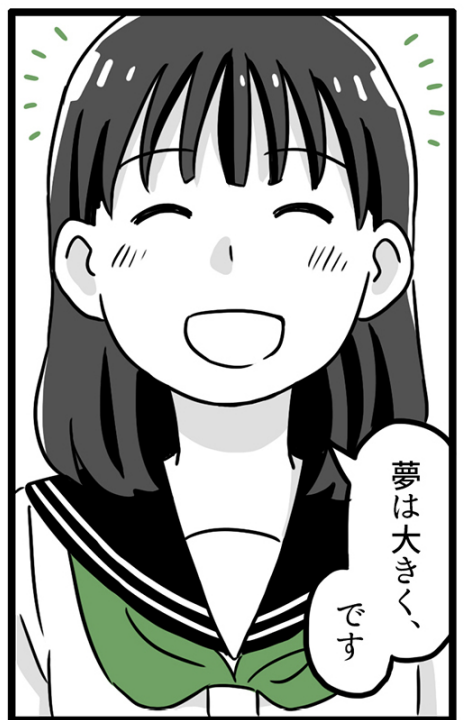


僕がお世話
になった先生を
紹介するよ
そういえば今度
バイオマスプラ
スチックの講演会
があるからチラシ
をあげよう、あと
おすすめの本も
貸してあげるよ
いやまずは大学
受験対策だな
それからそれから…

と、とりあえず
放課後また
来ます!!



大賛成
だよ!!



夢は大きく、
です